

## 第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況(まとめ)

※ 事務局による類型  
 ■:A 「チャレンジ!!」達成済  
 ■:B 具体的取り組みを実施中  
 □:C 未着手(取り組みを検討中)

## 第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
111	文化・芸術	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	文化施設の館長等の会議を開催し、連携した取り組みの検討を行った。情報交換を行い各施設の企画等に生かすとともに、平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行することを決定した。	平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行する。文化施設の館長等の会議を継続し、各施設が連携した新たな取り組みを検討する。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
112	地域間交流・国際交流	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	移住等希望者への様々な情報発信により、移住交流の促進を図った。また、友好都市等との交流事業では、首長、議長はもとより、民間レベルでの各種交流事業を促進した。	空き家バンクの充実により、移住等希望者の受け入れを図る。また、友好都市等との各種交流事業の推進により、交流人口の増大を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
113	人権尊重社会	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象〇(ゼロ)のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・差別事象ゼロを目指し、人権意識の醸成と意識改革を図るため、小学生を対象にした「人権の花運動」や広く市民を対象として、「巡回指導事業」「人権同和教育講座」等各種学習会を開催した。 ・隣保館(人権文化センター)では、生活文化の向上と人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を図った。生活人権相談員の配置により相談体制の充実・強化を図った。	・今後も、差別やいじめ、虐待等による人権侵害をなくすため、各種事業を推進し、人権意識の醸成と意識改革を図っていく。 ・隣保館(人権文化センター)では、各種事業において啓発活動を推進し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
114	男女共同参画社会	DV被害にあった時に、市役所に相談窓口があることを知っている市民の割合が100%になることを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	広報や啓発運動等を通じて、DV被害の深刻さ、また被害にあった時の相談等の周知を行った。	今後も様々な媒体、及び県、圏域のネットワークによる連携を図り、啓発を行っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
122	学校教育	中学校区ごとの教育推進会議を中心に、小学校から中学校に子どもたち一人ひとりの教育成果・課題をスムーズに引き継ぎ、小中学校間で指導の方針や方向を共有して、義務教育9年間の学びの充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	中学校区ごとの教育推進委員会により、小中学校間での日常的な交流の推進を図った。特に、中学校の英語科教師とALTによる小学校での出前授業、中学校区内の小中学校教師の合同研修など中学校区ごとに工夫して取り組んだ。	中学校区ごとの取り組みを継続するとともに、市教育委員会では、児童生徒の一層の学力向上を願い、学力向上会議、(小中学校)研究主任会議などを通じて教師の指導力の育成を図っていく。また、一人でも多くの不登校生が学校に戻ることができるよう不登校となっている子どもたちを温かく支援していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
123	高校教育・高等教育	本市の環境を生かした高等教育機関の誘致など、高等教育機会の拡充を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	高等教育機会の拡充策として、奨学金の貸付を通じた高等教育への就学支援を行った。	本市に適した形で高等教育機会の拡充を推進できるような環境整備を進める。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
124	青少年の健全育成	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化し、青少年を健全に育成する地域づくりの取り組みを充実させます。	B 具体的取り組みを実施中	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化するためには、育成推進員・補導委員としての自覚を持ち、地域へ出て広く市民に青少年健全育成活動を広げて行くことが重要である。そのためには各委員の資質の向上が不可欠となるので、研修会や関係団体との合同活動等を実施した。また、青少年健全育市民集会の実施により、広く市民に啓発した。	今後も研修会や合同活動等の場を提供し、育成推進員・補導委員が地域で十分な活動が出来るよう支援することで、取組を充実するすると共に、引き続き青少年健全育市民集会を実施し、市民に啓発していく。	「家庭の日」の普及をはじめとする青少年健全育成の啓発活動に力を入れてほしい。
131	生涯学習	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークの構築を目指します。	C 未着手(取り組みを検討中)	佐久地域定住自立圏検討部会(社会教育部会)において、定住自立圏により推進する具体的取組として、図書館ネットワークシステムの構築について検討したが、取組まないとした市町村が多く、すぐに取り組むことは難しい状況である。	各市町村において、図書館システムの構築方法、契約年数等や、利用登録についての制限等の違いがあるため、現状では難しい状況であるが、時間をかけての検討が必要と思われる。	周辺市町村との合意形成ができるよう、引き続き協議を進めてもらいたい。
132	スポーツ	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	AO長野バルセイロのホームゲーム開催を市広報誌やFMさくさくを活用して、地域に呼びかけるなど一流のスポーツに触れ、感動する機会の提供を行った。	佐久総合運動公園陸上競技場や総合体育館、整備予定の武道館を活用し、競技者の育成を図るとともに、一流のスポーツに触れる機会を企画立案していく。	南長野運動公園の改修が終わり、長野バルセイロのホームゲームが佐久市で開催されなくなった場合も、引き続き交流試合などを佐久市で開催できるような取り組みを進めてもらいたい。

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、上田地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るために関係団体によって組織化された同盟会を通じ要望活動を行った。	国における広域道路整備基本計画に地域高規格道路としての位置付けがされるよう国及び県に要望活動を行う。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	市内公共交通の運行状況の検証に基づく運行ダイヤと運行経路の改正、利用者対象乗車ヒアリング調査、全市民対象アンケート調査、公共交通に関する懇談会、利用促進のための乗車体験会、利用促進と利便性向上のため市内巡回バスにバリアフリー車両3台の導入などを行った。	・公共交通の利用者数は年々減少傾向を呈しているため、これに伴い運賃収入の減少が見込まれ、市の支出は増加すると認められる。 ・利用者数が少ない路線の廃止	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。特に、公共交通機関の利用に転換を図り、より効率的な交通体系を構築できるよう、研究を進めていただきたい。
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について全庁横断的な体制で協議、検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以降の開通や北陸新幹線の延伸を控え、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので雇用増大につながる土地利用を全庁的に推進していく必要がある。	現在ある商業地の活性化の方が重要と思われる。商業地を集積させずに再構築（リストラ）を図っていくという手法も検討してほしい。全体的には、都市計画のマスタープランをしっかりと作り、計画的に実施して欲しい。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	土地区画整理事業により、小規模で事業効果が得られる箇所や手法を検討した。	事業と地権者要望との調整を図り、同意を得て、事業計画・換地設計等に着手する。	市街地整備の様々な手法を検討する中で、具体的な取り組みが始まるよう、進めてほしい。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年10月から公営住宅については管理代行制度で、平成25年4月1日から公営住宅以外の市営住宅について指定管理者制度による管理方法に移行した。	今後は、管理代行と指定管理の業務内容の効率化を推進する。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の（市外でも）どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	電子申請で手続きができる項目数の増加を図った。	年々利用者も増加していることから、市民のニーズは高いと思われるので、より一層利用できる項目数の増加と利用促進の広報を行っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

### 第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験圃場において青大豆「あやみどり」、カモミールの栽培、耕うん同時畝立て播種を行うなど、収益性の高い転作作物の実証と新技術の導入試験を実施するとともに、見学会、体験会を開催し、普及啓発を図った。	試験圃場における、収益性の高い転作作物の実証と新技術の導入試験を継続実施するとともに、優良品種の選定や栽培方法の実証を進める。また、「信州の伝統野菜」として選定された「佐久古太きゅうり」などの産地化を推進しブランド化を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の持つ栄養価などの特長を知っていただくために、料理教室やレシピ本の作成を行った。	商業・観光業と連携した水産業の多面的な振興を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年度に策定した「佐久市公共建築物・公共土木等における木材利用促進方針」に基づき、市が行う公共事業は、できる限り地域材を利用することを周知した。	市が実施する公共事業における地域材利用の推進を通じて需要が生まれることにより、森林整備を促進していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	各商店会組織が行う「まちおこし事業」等に対して、継続して支援を行った。また、地域商店街活性化法の認定を受けた岩村田本町商店街振興組合及び中込商店会協同組合については、国の補助対象事業に上乘せ補助をすることにより、集中的に支援を行った。	引き続き、商店街が自主的に実施する各種事業に積極的に支援するとともに、空き店舗解消のための補助金を創設し、魅力ある商店街の形成を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	市民交流ひろばでは、バルーンのパルーン体験による誘客のためのPRを行った。	各種イベントに積極的に参加し、首都圏、北陸、中京圏などにおける誘客宣伝活動など、積極的かつ効果的なPR活動を展開し、着地型観光を推進する。	全県レベルで見ても佐久地域ほど観光に一生懸命な所はない。これまでの取り組みによって多くの観光資源・素材が発掘されたので、その発信方法を工夫し、観光客とともに素材を磨き上げていきたい。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、産業立地推進員の企業訪問により、迅速な対応の結果、平成24年度に2社、平成25年度に1社の立地に成功した。しかし、製造工場の海外移転等が進み国内での企業誘致は大変厳しい状況にあるため、業種を絞った企業誘致が行えていない状況である。既存企業の新産業創出のためのものづくりへの支援も実施した。	国内での立地動向がある内需産業としての、食品、医療、健康、物流への企業訪問を増加し、企業立地を推進するとともに、既存企業への新産業創出を支援していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	雇用確保・安定のために、関係機関との連携も含めて、支援を行った。	雇用情勢は改善しつつあるが、商工業だけでなく、農林業や介護・福祉などの新たな成長産業などへも、その時の状況に対応した支援策を検討していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
411	福祉のまちづくり	全地区が災害時住民支え合いマップを完成し、必要に応じて見直し更新を行います。	B 具体的取り組みを実施中	平成25年度末において、240区中213区でマップが作成された。	今後も社会福祉協議会等を通じて支え合いマップの目的や使用方法について説明するとともに、マップ未作成の地区においてはその作成を、既作成地区においてはその見直しを促進する。作成区においては、区での防災訓練時において支え合いマップ等を利用した避難訓練等の実施について働きかけを行う。 なお、支え合いマップの作成に当たっては、プライバシーに配慮するとともに個人情報の取り扱いについて、社会福祉協議会等を通じて指導していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業を通じ、健康寿命を延ばします。	B 具体的取り組みを実施中	介護予防事業は22事業を実施した。そのうち、「75歳お達者訪問指導」は、対象高齢者（介護保険を利用されていない方）876人に訪問を実施し、後期高齢者の介護予防や健康の維持増進について指導及び相談を行った。 一般高齢者向けの参加型事業は、「はつらつ音楽サロン」「転倒骨折予防事業」「はつらつ水中をウォーク」など5事業を、実施し2,453名の参加があった。 また、保健師・栄養士・健康運動指導士が地区に出向き介護予防の講義や実践指導を実施した。	保健・医療・福祉・介護の各分野の連携を図り、高齢者を支援していきます。また、高齢者自身が支え手になり、介護予防を実践していける体制を整備・推進していきます。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
413	障がい者福祉	障がい児・者及び家族に対するライフステージに応じた一貫した相談支援体制の充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業所・相談支援専門員の拡大について、障害福祉サービス事業所に働きかけた。 平成25年度末現在の相談支援事業所数11、相談支援専門員20名 計画相談対象者数（障がい者）732人（児）150人 計画作成済み（障がい者）357人（児）35人 発達障害及び発達障害の気になる児童に対し、成長段階ごとに関わる支援関係者が情報を共有し、一貫した支援ができるためのツールとして作成した「サポートブック虹のかけはし」を希望者に配付した。平成25年度末現在の配付数は、500冊中99冊であり、そのうち22名は就学後の児者、他77名は就学前の児童であった。	障害福祉サービスを利用している全対象者に対して、平成26年度末までにサービス等利用計画を作成していくために、月例事業所連絡会議及び佐久圏域事業所会議等において、相談支援専門員研修の受講と指定相談支援事業所開設について引き続き依頼をしていく。 目標数値：平成28年度相談支援事業所数20、相談支援専門員20名 平成30年度相談支援事業所数23、相談支援専門員35名 「サポートブック」の配付については、ホームページ・広報等の周知に加え、相談場面や出生・就園・就学等ライフステージが変わる際の周知に努めていく。また、これまで配付した利用者からの声を聞き、より有効活用できるよう内容の見直しを図っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
421	健康増進	食育を通して食を大切にすることを育み、朝食を毎日食べる小学生・中学生の割合を100%にします。	B 具体的取り組みを実施中	朝食を食べている割合は、平成25年度佐久市食生活実態調査により、小学生91.7%中学生87.5%であることから、年12回広報に食育だよりを掲載し、啓発活動を行った。また、栄養職員が保育園10園及び全小中学校を訪問し、紙芝居や講話を通じて朝食摂取の必要性を啓発した。	食育ボランティアの食生活改善推進員、さく・さく食育応援隊の育成や、小中学校における栄養教諭、栄養職員と協働したびんびんキラリ食を介した活動を行っていく。また、これから子育てを行っていく妊産婦やその家族、乳幼児健診での栄養指導・相談での朝食に関する指導や、喫食状況の確認を強化する。 併せて、今後も、広報への食育だよりの掲載（毎月）、食育月間・食育の日に合わせてFMラジオ・CATVなどの啓発活動を行っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。



第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
422	保健活動	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	<p>(現状)平成25年の自殺者数は19名である。(内閣府)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の電話相談事業として「こころのほっとライン佐久」を開設した。相談者は483名であった。</li> <li>・毎月1回「こころの相談日」を設け、相談事業を実施した。相談者は12名であった。</li> <li>・「ゲートキーパー養成講座」「心の健康づくり講座」を開催し自殺防止の啓発活動を行った。</li> <li>＊「ゲートキーパー養成講座」の出席者は初級編89名、中級編60名、フォローアップ編72名、「心の健康づくり講座」の出席者は151名であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も相談事業は継続する。</li> <li>・相談電話をフリーダイヤル化し、より相談の環境を充実する。</li> <li>・庁内での連携や、関係各団体との連携、定住自立圏形成協定での連携を通じて啓発活動を実施する。</li> </ul>	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
423	医療	市民・地域・医療機関との連携・協力を進め、日常生活圏において必要なときに必要な医療サービスを受けられることのできるよう地域に密着した地域完結型医療を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	<p>初期救急から3次救急医療までの安定的な提供体制を確立するため、佐久総合病院再構築を支援してきており、その中で、医療機関同士の連携強化を図るため「佐久市医療体制等連絡協議会」を主催した。併せて、佐久医療センター開院後の医療提供体制について、市民の理解を得るために、市民を対象としたアンケート調査を実施するとともに、その結果も含め、医療機関の明確な役割分担による医療提供等について、市広報に3回シリーズで記事を掲載するなどの取り組みも行った。また、救急医療の充実を図るため、浅間総合病院内に平日夜間や休日小児に係る初期救急医療を担う急病診療センターを開設した。平成25年度の利用状況は、平日夜間が、236日開設し、1日当り4人、休日小児は70日開設で、1日当り34.7人の利用があった。また、歯科における救急医療の確保についても、佐久歯科医師会によりサングリモ中込内に休日救急歯科診療所を開設し、平成25年度の利用状況は、日曜、祝日、お盆、年末年始の74日開設し、1日当り8.1人利用があった。</p>	<p>今後も急病診療センターを継続して開設する。医療連携協議については、佐久医療センターが平成26年3月1日に開院し、医療機関の役割分担が明確になる中で、医療の安定供給を促すための連携協議を継続するとともに、正しい医療機関のかかり方等について、引き続き市民に対する啓発活動を継続する。</p> <p>また、今後については、「急性期を経過した患者の受け皿確保」及び「高齢化を踏まえ、在宅医療への移行を促進するためのリハビリ体制の整備」などについて、支援策を研究、検討する。</p>	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
424	医療保険・国民年金	特定健康診査の受診率を65%まで引き上げます。	B 具体的取り組みを実施中	<p>受診の必要性の啓発に力を入れ、広報掲載(5回)や、FMさくだら・CATVなど放送媒体を通じた呼び掛け、未受診者に対する電話(893件)・はがき(9,996通)による呼び掛け、10月の受診勧奨月間に合わせた街頭PR、保険証の一斉更新時の啓発チラシの同封などを行った。</p> <p>また、「受診券」の発送による医療機関への直接申し込みを可能とした結果、発送人数18,809人に対し2,722人が直接申し込みを行った。</p> <p>受診率は37.1%(H24確定値)から36.8%(H25見込値)へ下落しており、啓発活動については新たな対策が必要である。</p>	定期的に診療を受けている者へのヘモグロビンA1c付加検査による特定健診とみならず診療を市内医療機関と協力を図り今年度より実施。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
431	母子保健	父母への啓発活動の強化などにより、乳幼児健診受診率100%を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	<p>平成25年度乳幼児健診受診率は4月児健診99.1%、10か月児健診98.1%、1歳6か月児健診99.5%、3歳児健診98.8%である。受診率向上のために、妊娠中に実施するパパママ教室への参加を母子手帳の交付時に周知して参加を促し、教室では乳幼児健診の必要性等を啓発した。未受診者への受診勧奨を前日、当日の電話連絡、来所しない方へのはがき勧奨等を行った。</p>	電話やはがきによる勧奨で未受診の場合には、地区担当保健師による家庭訪問や子育て支援課等他課との連携により受診勧奨や未受診理由を把握することによりさらなる受診率の向上を目指す。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
432	子育て支援・児童福祉	本市の合計特殊出生率を1.6から1.9まで伸ばします。	B 具体的取り組みを実施中	<p>子どもを安心して産み育てることができるための各種施策を実施し、合計特殊出生率が1.52となった。(H24集計結果)</p>	新小学校区への児童館整備及び望月、平賀・内山地区への保育所の整備を進め、安心して産み育てることができる子育て支援環境を提供していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
511	環境保全	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	A 「チャレンジ!!」達成済	平成25年12月末の時点で、市内における自然エネルギーを用いた電力自給率は、4.52%であり、後期基本計画の目標である電力自給率3%を大幅に超えた。平成24年度からの再生可能エネルギーの「固定価格買取制度」の開始に伴う太陽光パネルの設置増加や、市営メガソーラー発電所の建設、市が行っている太陽光パネル等への補助金交付による成果が出たものと考えられる。	新たに策定した「佐久市環境エネルギー重点プラン」に基づき、平成29年度までに市内の再生可能エネルギーを用いた電力自給率8%を目指していくため、太陽光発電設備に対する助成制度の改正、小水力発電施設の整備、その他の再生可能エネルギーの導入に向けての助成制度の検討、省エネ型設備等の導入促進などを行っていく。	新たな目標が達成できるよう、さらなる努力を期待したい。
512	街並み緑化・公園・景観形成	アダプトシステムによる公園管理の実施率を36%まで向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	管理委託をしていた行政区等に対するアダプトシステムへの移行の働き掛けや広報佐久、市ホームページで募集を行い、25年度末で27公園（43%）で実施した。	25年度末で、アダプトシステムの実施率は43%となっているので、引き続き事業が継続されるように、必要となる用具や資材の貸与または支給を行うなど実施団体への援助を行っていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
521	環境衛生	1人1日あたりのごみ排出量が少ない都市、全国1位を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	生ごみ処理機等購入補助・生ごみ水切運動・マイバック運動・リサイクルと再使用の促進・環境教育の推進・事業系ごみの分別減量化と資源化推進等ごみの減量化、及び再資源化施策を継続的に推進し、市民、事業者の皆さんへの啓発により取り組んだ。	目標とするところは、大変高いものであるが、排出抑制リデュース・再使用リユース・再生利用リサイクルの3R運動の推進により、目標に向け少しでも前進できるよう施策に取り組んでいく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
522	上水道	水を自然流下方式で配ることができる地形を生かしながら、太陽光発電を導入するなどにより、環境に配慮した水道を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	電気エネルギーなどの使用を抑制するものとして、自然流下方式を生かした配水方法を継続し、ポンプによる加圧給水は必要最低限で運用している。	引き続き、環境に配慮した水道の構築を促進していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
523	下水道	市内の全戸水洗化を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	平成22年度より、下水道供用開始区域の未接続世帯を対象に水洗化促進の戸別訪問を行っている。	今後も戸別訪問を継続し、未接続の理由を分析し、水洗化率の向上を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針	特記事項
			類型 ※	取り組み状況		
611	防災	地域ごとの特性を考慮した防災対策を推進し、地域防災の強いまちをつくりまします。	B 具体的取り組みを実施中	自主防災組織は、地域コミュニティが重要度を占めるため、防災の高揚を図るために出前講座等を通じ、各地域等で積極的な講演会等を展開した。	引き続き、「自助・共助・近助・公助」の役割について、各防災関係機関及び自主防災組織の防災組織体制力の向上を図る。更に、防災告知について、費用対効果等を検討し、充実を図る。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
612	消防・救急	消防・救急体制を充実し、市民の財産・生命を守ります。	B 具体的取り組みを実施中	佐久消防署、北部消防署の庁舎新築及び消防指令センターの整備により消防・救急体制の充実を図っている。	佐久消防署、北部消防署の庁舎については、平成26年度に竣工する予定。また、消防指令センターの整備についても平成26年度内に完了する予定。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
613	交通安全	交通事故死者数0(ゼロ)のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	幼稚園、保育園、小中学校、老人クラブ等における交通安全教室の開催、交通安全市民大会の開催、交通安全運動と連動した交通指導所の開設、年末における飲酒運転撲滅パトロール等、警察をはじめとした関係機関団体と協力して活動を行った。	交通安全運動に伴う交通指導所の開設、交通弱者(幼児児童高齢者)を対象とした交通安全教室の開催、佐久市交通安全市民大会の開催により、交通事故防止の啓発活動を行う。	講習や啓発や市民大会の実施に加え、ハード面として歩道のない道路へのグリーンベルト設置などの具体的な対応を行い、交通死亡事故0により早く近づくよう取り組みを進めてほしい。 また、高齢者の運転免許証の自主返納を呼び掛けるなど、警察と連携して交通事故防止への取り組みを進めていただきたい。
614	防犯	地域防犯体制の充実と地域住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちづくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	防犯体制については、佐久市防犯協会等の団体と連携し、地域の防犯組織が年間を通じて活動した。その活動を通して、住民の防犯意識の高揚を図った。	引き続き、行政、防犯協会、警察、教育機関、PTAなど関係機関の連携を強化し、市民総ぐるみの防犯体制、防犯環境を整備していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
615	消費生活	振り込め詐欺などの消費被害の根絶を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・佐久市消費生活センターの運用を開始し、消費者問題相談業務の充実を図った。 ・市内老人クラブに対し、高齢者悪質商法被害防止教室の開催を行った。	・高齢者の被害が増加する傾向にある中、講習会等に参加できない高齢者に対する被害防止教育を実施していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動支援のための情報ネットワークを構築し、人と人を結び心豊かなまちをつくりまします。	B 具体的取り組みを実施中	サポートセンターを設置し、ワークショップに参加した市民で構成された市民団体に運営業務を委託した。公設民営による運営の利点を活かし、市民目線での支援業務を行った。様々な市民活動を結びつける核となることを目指し、市民活動に関する情報の収集・発信、相談・コーディネート、活動場所の提供等の業務を実施した。	今後も、情報の収集・発信、相談・コーディネート等の基幹機能の充実・強化に努める。また、市民活動の活性化を図るため、様々な活動団体や市民の交流の機会を提供し、また各種講座を開催する。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
622	コミュニティの育成	一人ひとりの活力により、市民同士による共助と地域の魅力を高めまします。	B 具体的取り組みを実施中	コミュニティの活性化のため、区への交付金交付を行った。区長会と行政の懇談の機会を設けるなど、連携強化に努めた。	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にあることから、区への活動への参加について理解が得られるよう努めていく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
623	公共施設	統廃合も含めた公共施設の適正配置と効率的な運営や維持管理を進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成25年度、保有する施設の現状と課題を把握することを目的とした「佐久市公共施設白書」を作成し、その結果を踏まえ、施設に関する市の基本的な考え方を明らかにするための「佐久市公共施設マネジメント基本方針」を策定した。	時代の変化に伴い、公共施設の適切かつ効率的な配置が求められているため、同種の施設の統廃合や遊休施設の有効活用など、公共施設の計画的な整備や施設に合った管理者の選定、長寿命化等の効率的な運営を推進していく。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
624	行財政	自主財源の確保対策などにより、財政力指数の向上を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	主たる自主財源である市税等の増額を図るため、既存企業に対する各種支援のほか、新たな企業の誘致等による地域経済の活性化に資する事業に対し、予算を重点配分した。	臨時財政対策債や合併特例事業債等の交付税算入のある起債の償還費の増に伴う基準財政需要額の増、地方経済の低迷による市民税の減少や土地価格の低迷による固定資産税の減少など基準財政収入額の減といった要因により、財政力指数の低迷が懸念される。しかし、企業誘致等の施策も徐々にではあるが成果を上げつつあることから、今後も実施計画を基本として地域経済の活性化施策への予算の重点配分を継続する。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
625	広域連携	佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感のあるまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成23年度に策定した佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、関係市町村との連携事業を推進した。また、事業等の見直しを定期的に行い、対象事業の拡大を図り、地域全体又は必要な市町村で実施した。	関係市町村との連携・協力による取り組みを推進し、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図る。 佐久地域定住自立圏共生ビジョンの見直しを行い、社会情勢の変化に対し柔軟な対応をする。	現在の取り組みを「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。